

第37回 農大祭特集

農業大学校便い

無事に収穫を迎えました。



農大祭を翌日に控えた4日午前、学生及び職員全員参加のもと、収穫感謝祭が講堂で執り行われました。今年は猛暑に代表されるように全国的な天候の異変に悩まされた1年でした。しかし、農業大学校の農産物は大きな影響を受けることなく、収穫の恵みを授かり、その報告を行うことができました。

味わいコーナーで舌鼓。

即売でエネルギーを消費した皆さんは、それを補うべく味わいコーナー(食堂)に移動。好評の「農大そば」や「カレー」のチケットを買い求め、温かい食べ物に舌鼓を打ち、買い物疲れを癒す団らんのひとときが漂っていました。屋外でも焼きそばやポッポコーンに行列ができていました。



「early berry」に惜しみない拍手！



押し寄せる人、人。「農産物即買」。



多彩な品揃えが魅力の社会人課程



注文が殺到する野菜売り場

「盛り上がっていきうぜ！農大祭」をテーマに「第37回農大祭」が12月5日(日)に開催されました。この日は、前日の天気が嘘のように澄みわたり、800名を超える参加者に会場は大賑わいでした。

メインイベントは農大生が丹誠込めて栽培した農産物の即売。午前10時の開店前から野菜売り場(写真右上)を中心に買い物客が集まり始め、開会宣言後は思い思いの注文が殺到し、商品をさばく学生は右往左往。倉庫に並べてあった野菜はみるみる無くなりました。同様に花き(同右中)や果実(同右下)の売り場も多くの買い物客が押し寄せ、また、社会人課程の売り場も多彩な品揃えで臨みましたが、次々とテーブルから商品が消えていきました。



色とりどりの花を前に選ぶのは大変



充実した品揃えと安心価格の果実

まとめ買いしないでください！



洗剤が大人気のバザー



「NYスイーツ」こと農大羊羹

ゲームコーナー、かわいい歓声。

グラウンドの東側では、小さな子供を対象に手作りのゲームが登場。○×クイズを皮切りに、射的、ストラックアウト、輪投げ、ボーリングと盛りだくさん。得点次第でお菓子の景品がついて、二重の喜び。ボーリングではペットボトルのピンが多く倒れる様子にうれしい歓声が上がりました。



展示コーナー。



来校の皆さんに農業大学校をより知ってもらうために、行事や取り組み、園芸課程の3コース(果樹・野菜・花き)の栽培品目や、研究・調査についてパネルと、農産物を陳列しました。社会人課程では就農に向けて取り組む様子を伝えることができました。

締めはもちまき、農大祭に幕。



最後はグラウンドでもちまき。校長や自治会長らの挨拶の後、もちが投げられました。地域の皆さんに農大を知ってもらい、交流を深める大切な一日となりました。



「かき王子」「イチゴ姫」農大祭のよびかけ。



前日の4日午後、かつらぎ町のマスコット「かき王子」と「いちご姫」を中心に、思い思いの衣装に着飾った学生十数名は、リヤカーを先頭に恒例の仮装行列として、地元妙寺の住宅街や商店街を練り歩きました。学生はチラシとミカンを手し、町を行く人や商店に入って、農大祭開催を呼びかけました。駅前公園では遊んでいた小さな子供がかけよって来て「かき王子」と「いちご姫」と記念の握手、早速もらったミカンをはおほっていました。



専修学校

和歌山県農業大学校

〒649-7112 和歌山県伊都郡かつらぎ町中飯降422
TEL 0736-22-2203 FAX 0736-22-7402
HPアドレス <http://www.ag-wakayama.ac.jp/>
Eメール wa_noudai@ag-wakayama.ac.jp

vol. 25
平成22年
12月号
発行
和歌山県
農業大学校